

令和元年度「家庭教育ナビゲーター研修会」（生涯学習推進講座）開催要項

- 1 目的 「地域で子どもや保護者が、安心して子育てできる環境と何か」「その環境には何が必要なのか」などについて、共通理解を図り、子育ての輪を広げるための地域の役割について日頃から話し合うきっかけをつくる。
- 2 主催 稚内市教育委員会
北海道立生涯学習推進センター
- 3 会場 稚内市役所
- 4 実施日 令和元年12月～令和2年2月（計3回）
- 5 参加対象 稚内市社会教育委員・稚内市職員・家庭教育ナビゲーターなど稚内市において子どもの学びや居場所づくり、子育て支援に関わる方
- 6 参加者 20名程度
- 7 日程及び研修内容

【第1回】テーマ「家庭教育支援について」

18:00		19:10		20:00	
12月3日 (火)	受付 開講式	講義 「家庭教育支援について」 講師：宗谷教育局教育支援課 社会教育指導班主査	協議 「稚内市の子どもたちの様子について」 進行：生涯学習推進センター職員		閉会式

○講義 … 家庭教育ナビゲーターハンドブックを用いて、家庭教育支援の在り方について学ぶ。

○協議 … 稚内市の子どもたちの様子について意見交換し、稚内市の目指す子ども像について考える。

【第2回】テーマ「地域住民間の連携と子育て支援について」

18:30		18:45		20:15		20:30	
2月4日 (火)	受付 開会式	説明 「家庭教育ナビゲーターについて」 講師：宗谷教育局社会 教育指導班主査	講義 「遊ぶ力は生きる力 ～心をつなぐよいおもちゃ(仮)」 講師：mother's space ミーナ 代表 菊地 三奈 氏	意見交流 「地域で地域の子どもた ちを育てるためにでき ること」 進行：生涯学習推進セン ター職員			閉会式

○講義 … 簡単なおもちゃづくり体験、アナログゲーム（カードゲーム）体験を通して、家庭教育支援にかかわる参加者間の連携強化を図るとともに子育て支援のスキルを高めます。

○意見交流 … 望ましい子どもたちの居場所づくりについて考える。

【第3回】テーマ「これからの稚内市の子育てについて」

18:00		19:30		20:00	
2月	受付 開会式	協議 「これからの稚内市の子育てについて」 進行：生涯学習推進センター職員		まとめ	閉講式

○協議 … これからの稚内市の子育てに必要なこと、目指したいことを意見交換します。

○まとめ … 意見交換の結果を共有します。

【様式6】

令和元年度 第1回家庭教育ナビゲーター研修会（生涯学習推進講座） 報告書

1 講座概要

日 時	令和元年12月3日(火) 18:00~20:00
会 場	稚内市役所
運 営	稚内市教育委員会社会教育課主査 橋本 慎吾 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
講 師	宗谷教育局社会教育指導班主査 佐々木 憲一氏
参加人数	10名



【講義の様子】

2 プログラム概要

- 開 会
- 講義・演習「家庭教育支援について」
講師 宗谷教育局社会教育指導班主査 佐々木 憲一氏
- 協 議
進行 道立生涯学習推進センター主査 久末 考勇
- まとめ



【演習の様子】

3 講座内容と参加者の様子

本研修会は、子育て支援について参加者の共通理解を図り、子育ての輪を広げるための地域の役割について、日頃から話し合うきっかけをつくることを目的として開催している。第1回研修会は、北海道教育委員会が進める「家庭教育ナビゲーター養成研修」を兼ねて開催した。

講義では、身近に子育てについて相談する相手が少なく、孤立する母親がいる現状を踏まえ、「家庭教育ナビゲーター」には「最近どう？」から始まる炉辺談話による子育て支援、つながりづくりの役割があることを学んだ。また、演習では、傾聴することで相手に安心感を与えることや人それぞれに違ったものの見方があることを体験した。

協議では、2つのグループに分かれ、「稚内市の子供たちに必要なこと」を洗い出した。



【協議の様子】

4 アンケートの結果

本研修会の効果を計るため、研修会の事前と事後にアンケートを実施した。アンケートでは、「子育て支援」や「地域住民と行政の協働」への関心について4段階で調査した。

すべての項目において数値の上昇がみられた。特に「住民参画」や「行政と住民の連携協働」の上昇があり、参加者が地域の中でできることについて考えるきっかけとなったと考えられる。自由記述には「貴重な意見交換ができた」、「仲間の大切さを知った」、「子供や保護者の声を聞く際の参考となった」といった感想があり、研修会の必要性について理解を得ることができたようだ。

項目		事前	事後
1	安心して子育てできる環境への関心	3.3	3.7
2	地域住民が参画する必要性	2.6	3.1
3	住民が話し合う場の必要性	3.0	3.4
4	住民が主体的に関わることの必要性	2.9	3.3
5	行政と住民が連携協働することの必要性	3.1	3.8

数値は参加者11名の平均値（小数第2位を四捨五入）

【様式6】

令和元年度 第2回家庭教育ナビゲーター研修会（生涯学習推進講座） 報告書

1 講座概要

日 時	令和2年2月4日(火) 18:30~20:30
会 場	稚内市市役所
運 営	稚内市教育委員会社会教育課主査 橋本 慎吾 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
講 師	mother's space ミーナ代表 菊地 三奈氏
参加人数	14名

2 プログラム概要

- 開 会
- 講 義「遊ぶ力は生きる力～心をつなぐよいおもちゃ～」
講師 mother's space ミーナ代表 菊地 三奈氏
- 演 習「アナログゲームを通じたコミュニケーション」
講師 mother's space ミーナ代表 菊地 三奈氏
- まとめ



【講義の様子】

3 講座内容と参加者の様子

本研修会は、参加者の共通理解を図り、子育ての輪を広げるための地域の役割について、日頃から話し合うきっかけをつくることを目的として開催する2回目。今回は、参加者がより身近に、具体的に子育て支援について考えることができる内容を目指した。

講義では、乳幼児期は、愛情や基本的な生活習慣などが形成され、十分な自己の発揮と他者の受容による自己肯定感を獲得する時期であること、乳幼児が電子メディアに触れることによる影響などについて説明があった。

演習では、良いおもちゃを選ぶ視点が示された後、参加者は4～5名のグループに分かれ、「アナログゲーム」を体験した。参加者は、初めての体験に戸惑っていた様子だったが、「アナログゲーム」を進めるに連れ、会話が弾み、どのグループからも歓声があがっていた。



【演習の様子】

4 アンケートの結果

前回と同様に、稚内市の子育て環境や住民の地域における役割などについてのアンケートを研修会の事前と事後に実施した。前回ほど、数値の上昇は見られなかったが、自由記述には、

「子どもの成長には遊びが必要で遊びの中から得られるものがとても多い」

「他の職員や保護者にも聞いてもらいたい内容だった」

「今後もこのような研修会を開催してほしい」

「すぐに仲良くなれる雰囲気になった」

といった記述があり、本研修会が参加者にとって「安心して子育てできる環境」について考える機会になったようだ。今後、研修会を企画する際の参考としていきたい。

項目		事前	事後
1	安心して子育てできる環境への関心	3.7	3.8
2	地域住民が参画する必要性	3.0	3.2
3	住民が話し合う場の必要性	3.3	3.3
4	住民が主体的に関わることの必要性	3.4	3.5
5	行政と住民が連携協働することの必要性	3.6	3.6

数値は参加者12名の平均値（小数第2位を四捨五入）